

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会

令和4年度第1回理事会(令和4年4月17日)

議 事 録

【日時】令和4年4月17日(日) 18:30~22:00

【会場】WEB 理事会 (WEB 会議アプリケーション Zoom 使用)

定刻に役員13名とオブザーバー1名の WEB 参加 (会議アプリケーション Zoom を使用) および WEB 出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、本会議は成立したことを議長清水が宣言した。

【次第】1、出席確認 2、議長選任 3、議事 4、議事録署名人選任 5、閉会の辞

【出席13名】理事：清水(慎)、草山、藤田、清水(克)、大屋、平岡、秋澤、

宋、長野、橋口、北原

監事：森下、日野

オブザーバー：三田

【欠席1名】理事：古思

【議長】清水会長 【書記】藤田、三田 【議事録署名人】清水(慎)、森下、日野

【議題】

〔I〕報告事項

1. 入退会の報告(2022年3月6日以降、4月16日まで)

◎入会者 0名

◎退会者 9名

正会員(飯田玲子、戸上美恵子、秦宗広、石井宮子、菅澤千佳)

学生会員(相馬里美、松尾順子、江副愛、明石春花)

令和4年4月16日現在の会員数230名 (正会員223名、学生会員7名)

現在審議中 2名

2. みなし決議案

・学生会員入会審査 岸 百華殿 承認の件(令和4年4月5日)

・学生会員入会審査 曾我静香殿 承認の件(令和4年4月13日)

3. 会務報告(業務執行理事報告)

特になし。

4. 各部報告

(1) 総務部・IT 委員会：

藤田総務部長より、4月15日に藤田総務部長、宋 IT 担当理事、高橋部員、石川部員で IT 委員会を開催し、今後の役割分掌と現在の業務の確認を行ったと報告があった。

藤田総務部長より、4月より変更になった Drop box の運営についての説明があった。会として 2T バイトまで容量があるが、個人としては 2G バイトまでの容量であるので注意が必要であるとの説明があった。1 年前までのデータはクラウド上にあるが、それ以前のデータは

事務局でバックアップを行うがクラウド上から削除していくとの説明があった。

(2) 財務部：
特になし。

(3) 組織共済部：
特になし。

(4) 学術部：
特になし。

(5) 広報部：
平岡広報部長より、広報誌と会報誌が完成し 4 月 15 日に会員への郵送が終了したとの報告があった。会報誌・広報誌の会員以外への各団体などへの送付について、理事 ML にて報告するとの説明があった。

(6) 普及部：
秋澤普及部長より、横浜市中区社会福祉協議会にて 9 月 4 日と 11 日に対面の市民講座向けの会場を予約する予定であるとの報告があった。

(7) 保険部：
清水(克)保険部長より、4 月中に出勤を行い前年度の整理を行う予定であるとの報告があった。5 月か 6 月に初心者への取扱い説明会を検討中であるとの報告があった。

(8) 危機管理委員会：
特になし。

(9) 学生委員会：
特になし。

5. その他

①税理士との面談報告(草山副会長)

草山副会長より、4 月 15 日に清水会長、草山副会長、古思財務部長らで ZOOM にて税理士法人メティスの小菅英顕代表税理士と面談を行ったとの報告があった。税理士法人メティスは厚木にあり、11 名の社員、3 名の登録税理士、2 名の未登録税理士、2 名が税理士免許を所持しており、当会契約中の税理士法人と比較すると、コスト面とマンパワー面での利点があるとの説明があった。

〔Ⅱ〕審議事項

(1) 総務部：

①無線ルーター変更契約について

宋 IT 担当理事より、別紙提案書の通りルーターにトラブルが発生した場合ベンダー対応ができること、初期費用 39,600 円がかかり、追加費用が月 638 円増えるとの説明があった。
リコーメールプロバイダ ルーターの変更契約をするという審議を行い、全会一致で承認した。

②みなし決議入会審査資料について

藤田総務部長より、Drop box 上にあるみなし決議における入会審査の入会申込書にパスワ

ードをつけたほうがよいとの提案があった。クラウド上にあるデータであるので慎重を要した方がよいとの意見があり、データのフォルダ移動でのミスコピーやメール添付でのミス添付などでの人的ミスにより情報漏洩リスクがあるとの説明があった。

個人情報が入ったファイルについて、当面パスワードをつけてみて様子を見るということで情報が共有された。

③HP 掲載（旧郵送物）タイミングについて

藤田総務部長より、旧来は年間の郵送計画を立てていたが、多くの会員への情報共有が現状は週1回 HP 掲載（毎週金曜日 HP 更新、前週金曜日締切）に移行し、郵送が必要な先生は40名（内希望者10名）となっており、年間の郵送計画が必要ないとの意見があった。代替として、郵送が必要な先生への情報共有として、月末金曜日郵送、その前週金曜日を締切として郵送を行っていくことが共有された。

④事務局職員の増員について

藤田総務部長より、事務局職員の岡田さんが6月総会までで退職の意向があるため、事務局職員の吉田先生を通じてハローワーク等にて求人を行うとの説明があった。人材としては基本的なPC業務ができる方を募集し、人柄を考慮するため面接を行うとの説明があった。

（2）財務部：

特になし。

（3）組織共済部：

①年会費支払いの未収対応について

長野組織共済部長より、別紙提案書の通り提案の説明がされた。

藤田副会長より、賠償責任保険支払いと年会費支払いのタイミングを合わせる必要があるとの意見があった。

大屋理事より、月払いの会員がいるので支払いのタイミングを揃えるより、手数料がかかるがクレジットカードによる引き落としにするのも一案であるとの説明があった。

清水会長及び草山副会長より、1年以上の未納が問題であるので3か月の未納が分かった時点で対処するようにとの指示があった。

（4）学術部：

特になし。

（5）広報部：

特になし。

（6）普及部：

特になし。

（7）保険部：

特になし。

（8）危機管理委員会：

・災害時等連絡体制の制定

平岡危機管理委員より、別紙提案書の通り災害時等連絡体制の制定について、①なぜ災害時の連絡体制が必要なのか、②災害時における連絡手段は優先順位を設け、1. LINE オープンチャット、2. 電子メール、3. 電話とし、③電話連絡網の内容、④災害の種類や

規模による発災時の安否確認等の連絡ルールについて説明がなされた。

大屋理事より、神奈川県との災害協定締結の際参加を募集した会員についてはどのように対処するのかについて質問があった。平岡危機管理委員より、推進協議会案件であり検討が必要であることと今回の提案は理事内でのことであり、別の案件であるとの回答があった。

災害時における連絡手段として、LINE オープンチャット、電子メール、電話の優先順位で行うという審議を行い、全会一致で承認した。

緊急時の電話連絡網について、宋理事より電話番号を知られたくない理事がいた場合はどうするのかの質問があり、平岡危機管理委員より危機管理委員だけわかっている状態で該当理事に依頼するなどの対処が取れるが基本的には電話番号をオープンする必要があると考えているとの回答があった。緊急時の電話連絡網について、危機管理委員会が中心となり LINE オープンチャットと電子メールにて連絡が取れていない理事に対して電話連絡を行うという内容の審議を行い、全会一致で承認した。

災害の種類や規模による発災時の安否確認等の連絡ルールについて、災害の種類・規模によって 3 段階に分け、原則のルールを定めたとの説明があった。宋理事より、東京都在住の理事がいるがどのように運用するのかの質問があった。平岡危機管理委員より、東京都及び神奈川県での災害とするとの回答があった。藤田副会長より、LINE オープンチャットでは安否確認の上で情報交換が行われて情報が埋もれてしまう懸念についてはどうかとの質問があった。平岡危機管理委員より、情報交換がされてもよいと考えているおり、運用してみる必要があるとの回答があった。災害の種類や規模による発災時の安否確認等の連絡ルールの運用を行うとの審議を行い、全会一致で承認した。

(9) 学生委員会：

- ・学生会員ポスター郵送について

北原学生委員会より、新年度が始まり各学校へのメールでの挨拶及び学生会員ポスター掲示の依頼を行いたいとの説明があった。各学校へのメールでの挨拶及び学生会員ポスター掲示の依頼を行うという審議を行い、全会一致で承認した。

(10) その他：

①当会会員による湘南医療福祉専門学校への求人

藤田副会長より、当会会員施術所へ学校への求人の希望がある旨を伝えることは可能であるが、会員施術所と学校もしくは学生の間を取り持つ事は公益社団法人として難しいとの見解であり、また特定の 1 校に限定することはできない見解であるとの説明があった。組織共済部及び学生委員会の相談にて学校向けの求人応募の案内を作成することとなった。

②日鍼会代議員補欠について

草山副会長より、神奈川選挙区の日本鍼灸師会代議員の秦前代議員が当会を退会されるため、補欠選挙を実施する必要があるとの説明があった。

日本鍼灸師会代議員補欠選挙実施について、立候補受付期間を 2022 年 5 月 6 日（金）～ 5 月 10 日（火）とし、立候補届を選挙管理責任者にメールか郵送で行い、投票方式を郵送方式による単記無記名投票にて行い、投票日を 2022 年 6 月 5 日（日）17 時必着とし、当選人公示を 2022 年 6 月 6 日（月）日本鍼灸師会事務局に公示を行うという内容での審議を行い、全会一致で承認した。

③委託税理士の変更について

清水会長と草山副会長より、報告事項にて税理士法人メティスの小菅英顕代表税理士との面談を行ったとの報告があったが、別紙提案書の通り年間で 30 万円程のコスト削減が見込

めること、職員が多いのでタイトなスケジュールでの決算処理とならないこと、税理士法人タカノが協力的ではなく不信感があるので委託税理士の変更をするとの説明があった。また、税理士法人メティスに7月以降に委託税理士へ変更する予定であるとの説明があった。

藤田副会長より、税理士法人タカノによりこの2年間各部の出納帳作成に精力を要したこともあり、当初の見積もりより費用が掛かったとの説明があった。また、今後はこの2年間より費用は掛からないことが見込まれる事実もあるとの意見があった。

委託税理士について税理士法人メティスを候補とするという審議を行い、全会一致で承認した。

〔Ⅲ〕その他

藤田総務部長より、変更された各部のメールアドレスが運用されているが、順次事務局管理にて各部のメーリングリスト及びドメインメールを新しく運用していくとの説明があった。

以上、22:00をもって令和4年度第1回理事会が終了した事を議長清水が宣言し、閉会となった。

次回、令和4年度第2回理事会は、5月29日（日）18:30～20:30に開催予定。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

令和4年4月17日

代表理事

清水 慎司

印

監事

森下 元

印

監事

日野 博

印